

教育実践総合センター平成 29 年度活動概要

1. 構成員

センター長 (併任)

教授 栗原 慎二

センター担当教員

《学校教育相談実践部門》

教授 岡 直樹 (併任)

教授 栗原 慎二 (併任)

《教育実践研究開発部門》

准教授 (実務家教員) 西本正頼 (併任)

准教授 (実務家教員) 大里 剛 (併任)

事務補佐員

竹ノ中亜由美

非常勤相談員

教育臨床相談 エリクソン ユキコ, 山崎 茜

学習相談 中村 涼

センターの概要

二つの部門を設置し、学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っています。

教育実践研究開発部門では、高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに、学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っています。学校教育相談実践部門では、現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っています。平成 18 年度から学校心理教育相談室 (にこにこルーム) を設置し、学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供しています。

2. 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

(1) 子どもの心と学び支援セミナー

① 「多様な現場の実践に学ぶ」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 29 年 5 月 20 日 (土)

場所：比治山大学 6 号館

講師：中井俊之 (広島市立公立小学校)

大西久美子 (パレアモア広島 保健師)

荊木まき子 (就実短期大学 講師)

② 「誰もが学びたくなる教室に『UDL の実際と明日から始める実践計画』」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 29 年 7 月 1 日 (土)

場所：比治山大学

講師：バーンズ 亀山 静子 (ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト)・中川優子 (イリノイ州 Frank C. Whitley Elementary School 教員)

③ 「日本ピア・サポート学会第 16 回総会 & 研究大会」

対象：学会員・教育関係者・大学生・大学院生

期日：平成 29 年 10 月 8 日・9 日 (日・月)

場所：広島大学東千田キャンパス未来創生センター

④ 「音楽療法からみた学習支援」

対象：教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 30 年 1 月 10 日 (水)

場所：広島大学教育学部 第三・四会議室

講師：谷本 仰 (南小倉バプテスト教会・音楽療法士)

⑤ 「交流分析を使った困難事例の理解と対応」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 30 年 1 月 14 日 (土)

場所：合人社ウエンディひと・まちプラザギャラリーA

講師：栗原 慎二 (広島大学)

⑥ 「ワークショップと講演」

対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 30 年 3 月 24 日 (土)

場所：比治山大学

講師：栗原慎二 (広島大学) 他

3. 研究活動状況

(1) センタープロジェクト研究

① 岡山県総社市との協力に基づく共同研究

「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究①」

② 宮城県石巻市との協力に基づく共同研究

「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革

の研究②」

- ③ 兵庫県加古川市との協力に基づく共同研究
「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革
の研究③」

- ④ 平成 29 年度教育学研究科共同研究プロジェ
クト

「子どもの心と学び支援を通じた知の交流が教
員としての専門性の発展にもたらす効果の検討
—他機関連携の視点から—」

4. 教育・社会貢献事業

- (1) にこにこルーム (学校心理教育支援室)

《学習相談》

にこにこルームの学習相談に参加した学生は
51 名。

- ① 前期 (2017 年 5 月 10 日から 2017 年 8 月 2
日)

東広島市内の小学校 13 校から 4 年生以上の
児童 13 名を抽選で選び、5 月 10 日から 8 月 2
日までの計 12 回、毎週水曜日 17 時 30 分から
19 時 20 分までの 110 分、認知カウンセリング
とレクリエーションのセッションを行い、終了
後、毎回ケース検討会を行った。また、抽選で
選んだ児童とは別に、9 名の児童・生徒に対し
て毎週水曜日 18 時 45 分から 19 時 45 分までの
60 分間の個別認知カウンセリングを行った。

- ② 後期 (2017 年 11 月 1 日から 2018 年 2 月 7
日)

東広島市内の小学校 13 校から 4 年生以上の
児童 12 名を抽選で選び、11 月 1 日から 2 月 7
日までの計 12 回、毎週水曜日 17 時 30 分から
19 時 20 分までの 110 分、認知カウンセリング
とレクリエーションのセッションを行い、終了
後、毎回ケース検討会を行った。また、抽選で
選んだ児童とは別に、8 名の児童・生徒に対し
て毎週水曜日 18 時 45 分から 19 時 45 分までの
60 分間の個別認知カウンセリングを行った。

- ③ その他の活動

2017 年 9 月から 2017 年 10 月の間に、3 名
の学生が広島市内の公立高校にて学習支援を行
った(延べ 4 回)。2017 年 4 月から 2018 年 2 月、
毎週水曜日、木曜日、金曜日に 10 名の学生が
東広島市内の公立小学校にて学習支援を行った。

にこにこ広島ルームでは、にこにこルーム個
別学習相談窓口にて受け付けた小学生・中学生
の児童・生徒 3 名に対して、国語・算数・英語
の認知カウンセリングを 30-60 分行った (延べ

24 回)。教科・時間についてはそれぞれの相談
のニーズにあわせて決定した。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生
支援員による学校臨床相談活動を実施した。1
回の面接は 50 分で、原則 10 回～15 回を上
限とした回数限定でカウンセリングやソーシャ
ル・スキル・トレーニング (以下 SST) 等を行
った。学生支援員が担当するケースの判別は臨
床心理士が行い、インテーク面接の実施後、学
生が児童生徒の面接を担当した。

- ① にこにこ広島ルーム臨床相談 (毎週土曜日)

広島大学東千田キャンパス内の相談室におい
て、毎週土曜日 (10 時～17 時 30 分) に完全予
約制で相談活動を行った。来談件数は 10 件で、
延べ相談件数は 25 回。来談のケースは小学校 2
年生～中学 2 年生。不登校及び不登校傾向、発
達障害、進路への不安、子育て不安などに關
する相談等が中心であった。

- ② にこにこ東広島ルーム臨床相談 (毎週日曜
日)

東広島ルームの支援員は 2 名で有資格者
カウンセラー 2 名によりカウンセリングとス
ーパービジョンを行った。

広島大学キャンパス内の相談室において、毎
週日曜日 (10 時～17 時 30 分) に完全予約制
で相談活動を行った。来談件数は 15 件で、延
べ相談件数は 138 回。来談のケースは小学校 2
年生～中学校 2 年生。不登校及び不登校傾向、発
達障害、子育て不安、その他精神症状に關する
相談であった。

- ③ 定期ケース検討会 (木曜日 18 時～20 時 30
分)

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。
参加学生は事前登録した 38 名で、臨床心理士
及び学生支援員の担当するケースの事例検討会
を行った。また、学級経営、児童・生徒のア
セスメント、カウンセリング基本技法、SST 技法
等の勉強会を実施した。(延べ 25 回)

- ④ ボランティア実習

広島市内の母子自立支援施設、情緒障害児短
期治療施設、広島市生活困窮世帯学習支援事業
等においてボランティア実習 (最低 5 回以上)
を実施。学生は実習後に毎回レポートを提出し、
教員によるフィードバックを行った。

《学習相談・学校臨床相談合同の活動》

集団ソーシャル・スキル・トレーニング & 学習

カウンセリング

地域の児童・生徒を対象に 2017 年 10 月 26 日から 2018 年 2 月 1 日まで計 5 回、集団 SST と認知カウンセリングを行った。参加者は対人関係の苦手な子どもや発達障害の傾向のある児童・生徒で女子グループと男子グループ（各小学校 4～6 年生 6 名、計 12 名）に分かれ、SST は学校臨床相談の学生、認知カウンセリングは学習相談担当が担当し教員の指導のもと実施した。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年（50 回）

対象：教員および保護者等

人数：延べ約 120 名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員 17 名及び下見地区の地域の方等の学外委員 10 名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織。「地域教育実践 I・II」の授業として通年で開講した。2017 年 6 月から 12 月の間、6 回の活動を行った。活動時間帯は、13 時から 17 時(最終日のみ 11 時から 17 時)。参加学生は、計 54 名。児童は東広島市立小学校から募集した 72 名。児童 9 名と学 6～7 名で 1 班とし、8 班を編成、「リサイクル工作」、「レスキュー」の各 4 班の 2 グループでグループ活動や畑での栽培活動などを行った。